

**秋田県男鹿市、潟上市及び秋田市沖における協議会
共生策検討委員会（第1回）**

○日時

令和8年2月6日（金） 10時30分～11時10分

○場所

秋田県市役所5階 第3・4委員会
（一部の構成員はWEB会議形式にて参加）

○参加者

秋田県産業労働部クリーンエネルギー産業振興課 立石政策監
秋田県農林水産部水産漁港課 三浦政策監
男鹿・潟上・秋田 Offshore Green Energy 合同会社 佐々木プロジェクトダイレクター
男鹿・潟上・秋田 Offshore Green Energy 合同会社 地域共生チーム 丸川マネージャー
男鹿市観光文化スポーツ部 三浦部長
潟上市総務部 古仲部長
秋田市産業振興部 新出新エネルギー産業推進担当部長
秋田県漁業協同組合 杉本代表理事組合長
秋田県漁業協同組合 菊地専務理事
秋田県漁業協同組合 菅原船川地区運営委員長
秋田県漁業協同組合 清野船川地区運営副委員長
秋田県漁業協同組合 伊藤天王地区運営委員長
秋田県漁業協同組合 藤原天王地区運営副委員長
秋田県漁業協同組合 山田脇本地区運営委員長
秋田県漁業協同組合 小玉脇本地区運営委員
秋田県内水面漁業協同組合連合会 村上副会長
雄物川水系サクラマス協議会 稲垣副会長
秋田県鮭鱒増殖協会 須田会長
八郎湖増殖漁業協同組合 菅原代表理事組合長
秋田県水産振興センター 保坂主査
経済産業省資源エネルギー庁新エネルギー課風力政策室 千葉係長（※）

（※オブザーバー）

○議題：

(1) 共生策検討委員会の設置について

- 秋田県産業労働部クリーンエネルギー産業振興課（事務局）より資料1について説明。意見・質問無し。

(2) 基金分配について、(3) 今後の検討スケジュール等について

- 男鹿・潟上・秋田 Offshore Green Energy 合同会社より資料4について説明。

秋田県鮭鱒増殖協会

- 基金に課される税金の考え方を教えていただきたい。正しい取扱いの方法や納税額などを把握しておくべきだと感じている。

男鹿・潟上・秋田 Offshore Green Energy 合同会社（事務局）

- 基金に関する具体的な課税の取り扱いをご説明できる立場でないことから具体的な税金額をお伝えすることができないが、取扱いについては透明性、公平性確保の観点から共生策検討委員会の皆様と丁寧に確認していきたい。

経済産業省資源エネルギー庁資源エネルギー庁新エネルギー課風力政策室

- 必要な施策に対して毎年基金を出捐する際、基金の目安額の管理はどのように行う予定か。また、出捐の期間を定めず目安額を上限とし、それに達するまで出捐するということか。

男鹿・潟上・秋田 Offshore Green Energy 合同会社（事務局）

- これから関係者の間で協議、決定していく事項であることから、現時点において明確に回答できないが、実際の進め方はご質問のとおり、施策に合わせて出捐し、各主体の目安額に対する出捐額の執行状況を各年度の共生策検討委員会で確認する見込みと思料している。

秋田市

- 地域共生基金配分の検討経過について補足する。
令和6年9月から基金の配分について検討開始。各市課長級から会話を始め、現在は各市部長級での議論。県漁協と協議を行い、漁

業振興策：地域振興策＝7：3に決定。皆様のご協力があったからこそ配分に合意できた。改めて御礼を申し上げる。

男鹿市

- 3市や漁協の皆さまと協議していく中で、洋上風力発電事業と地域が共生し、地域全体に裨益があるように今後も協議を継続していく。

潟上市

- 令和8年11月末の出捐期限までに、真摯な対応を継続し協議を進めてまいりたい。

秋田県漁業協同組合

- 漁業振興策に係る基金配分は、どのように配分されるか未決定。今後、秋田県水産漁港課とも連携しながら早めに配分を決定したい。

秋田県水産漁港課

- 漁業振興策分が7割ということは確定しているものの、具体的な実施内容や30年間の年次計画は未確定であることから、共に検討していきたい。

○共生策に関する議題（2）～（3）に対する決議

秋田県産業労働部クリーンエネルギー産業振興課（事務局）

- 本日の決議内容について修正が必要な箇所は特段無かったため、この内容で決議したいと思うがよろしいか。

全員

- 異議無し

秋田県産業労働部クリーンエネルギー産業振興課（事務局）

- それでは、この内容で決議する。本日の決議内容については、今年度の法定協議会にて報告する。

以上